

令和4年度大和町議会報告会資料

議会の定数・報酬について

令和5年2月
大和町議会

議会の定数報酬について

全国的に議員のなり手不足が深刻化

- ・ 令和2年町議会議員選挙 定数18人に19人立候補
- ・ 投票率：平成12年70.3% → 令和2年46.7%
- ・ 議員の候補者がおらず、苦勞した地域も



町民の声が行政に届かなくなる。

議会の定数報酬について

町内の各種団体の代表者24名からなる

「これからの大和町議会のあり方ゼミナール」を組織

なり手不足の原因？ これからの議会議員に必要な事は？
セミナーやワークショップを通じて議会のあり方を議論



議員になるための課題とは？

議会の定数報酬について

これからの大和町議会のあり方ゼミナールの意見

◎ 議員になるための課題

- ・ **家族、地域、会社の理解・協力**
- ・ **自己の意欲や知識、能力**
- ・ **時間とお金**
- ・ **生活や仕事の変化**
- ・ **支援者や議会内での関係**

- 議員報酬を**増加** 新たな立候補者のため。
- 議員定数は**現状維持** 住民の困り事を解決するため。

開かれた議会 多様な議会が求められる

議会の定数報酬について

大和町議会での経過 定数

| 年度 | 定数変化 | 理由 |
|-------|---------|-----------------------|
| 昭和59年 | 26 → 22 | 法制議席の減少要請。 |
| 平成16年 | 22 → 20 | 地方分権のため。 行政効率化のため。 |
| 平成20年 | 20 → 18 | 更なる行政効率化のため。 |

議会の定数報酬について

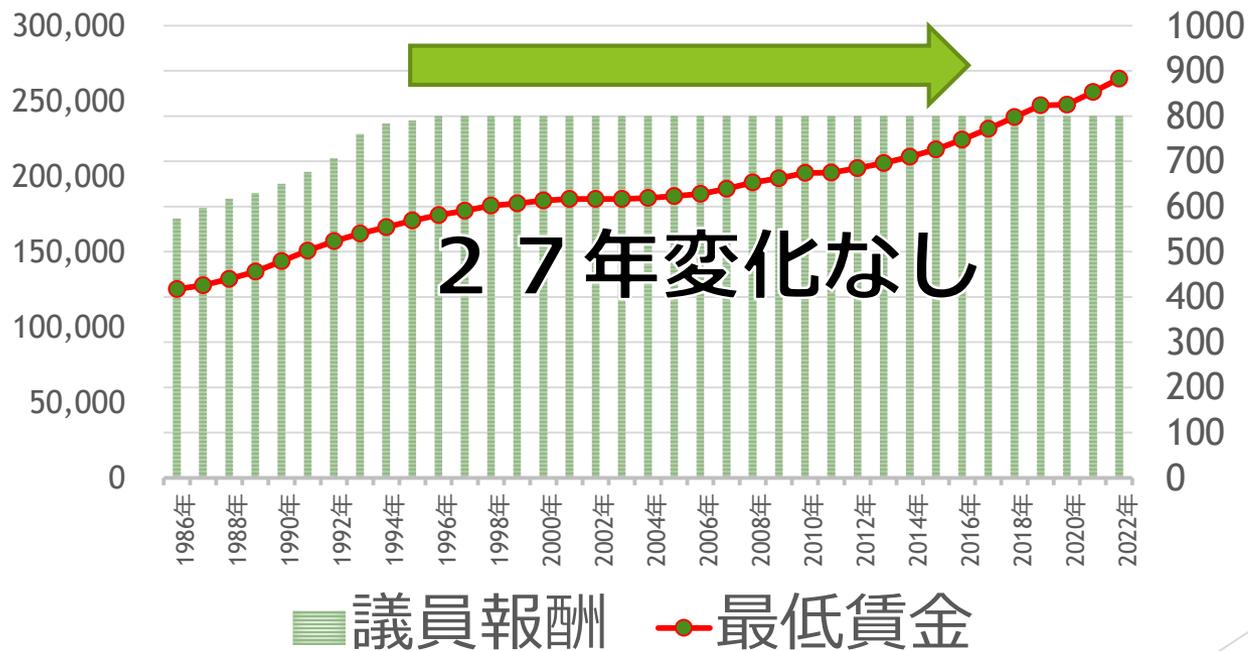
大和町議会での経過 報酬（月額）

| 年度 | 議員報酬 | 増減 | 最低賃金 |
|------|----------|---------|-------------|
| 平成5年 | 228,000円 | | 540円（+17円） |
| 平成6年 | 235,000円 | +7,000円 | 554円（+14円） |
| 平成7年 | 237,000円 | +2,000円 | 569円（+15円） |
| 平成8年 | 240,000円 | +3,000円 | 581円（+12円） |
| 令和5年 | 240,000円 | 0円（27年） | 883円（+302円） |

議員240,000円 副議長255,000円 議長309,000円

議会の定数報酬について

議員報酬額推移



議会の定数報酬について

県内市町村の議員報酬額比較 報酬（月額）

| 役職 | 大和町 議員報酬 | 県内市町村平均 (県内町村平均) | 県内35市町村順位 (県内21町村順位) |
|-----|-------------|------------------------|-------------------------|
| 議員 | 240,000円 | 307,472円 (250,095円) | 28位/35市町村 (14位/21町村) |
| 副議長 | 255,000円 | 327,500円 (264,571円) | 28位/35市町村 (14位/21町村) |
| 議長 | 309,000円 | 387,500円 (320,000円) | 29位/35市町村 (15位/21町村) |

議会の定数報酬について

大和町議会での検討

1. これからの大和町議会のあり方プロジェクト
ワークショップ 令和3～4年度 7回
2. これからの大和町議会のあり方プロジェクト・
ワーキングチーム会議 令和4年度14回
3. 議会活性化調査特別委員会 令和4年度5回

議会の定数報酬について

2. これからの大和町議会のあり方プロジェクト・ワーキングチームの検討結果

(1) 定数・報酬について

定数…現状維持または、定数 1 減及び定数 2 減もやむを得ない。

報酬…議員報酬は 3 0 万円程度まで増額が必要と考える。

併せて、三役の報酬アップも議論していく必要がある。

(2) 家族・地域・会社・支援者等の理解について

(3) 議会内・議会外・会派での議員活動について

(4) 福利厚生・設備など議会環境について

※ (2) ~ (4) も継続して審議する必要がある。

議会の定数報酬について

3. 議会活性化調査特別委員会での検討意見

定数を現状維持

- ・ 大和町の人口減少は10年先の話である。
- ・ 地域の声を反映させるために維持すべき。
- ・ 定数減は町民にとってマイナスになる。
- ・ 定数減とすると執行部が強くなる。
- ・ 議会で議論するためには人数が必要。
- ・ 定数減らす理由が明確ではない。
- ・ 他の自治体の動向は別である。
- ・ 定数維持して活動をもっと発信すべき。

定数を削減

- ・ 人口減少を見越して定数減すべき。
- ・ 議員は町全体で考える必要がある。
- ・ 定数減で議員の資質が向上する。
- ・ 議員が減っても議論できる。
- ・ 議員定数に根拠はない。
- ・ 他の自治体は定数減らしている。
- ・ 定数減で活動量は増える。

議会の定数報酬について

3. 議会活性化調査特別委員会での検討意見 報酬を増やす意見

若い人、多様な人が議会に参画するために増額が必要である。

報酬増により立候補者が増え、議員の質が向上する。

平成8年から27年も報酬を上げていない。

町長の報酬と活動日数を議員と比較する方法だと6万円ほど増加となる。

1～2万円でも報酬を増やす必要がある。

報酬を現状維持する意見

報酬が増加しても立候補しないのではないか。

報酬上げると議員の資質が向上するのか。

議会の定数報酬について

町議会では

定数・報酬議論を実施中****

議会の定数報酬について

**みなさんのご意見を
お聞かせください。**